

「農業イノベーション大賞 2020」の受賞者が決定

2020年5月23日、農業情報学会ほか関係団体が主催・共催する「農業イノベーション大賞 2020」の受賞者の表彰式、及び受賞講演会が、農業情報学会年次大会の一環として開催されました。

(新型コロナウイルスの影響で、オンラインでの開催となりました。)

農業イノベーション大賞 2020WEB : <https://www.jsai.or.jp/年次大会等/農業イノベーション大賞>



農業は、最も長い歴史を有する産業であり、人類の生存の基盤となる産業です。従来も何度か革新を経験してきた産業でもありますが、AI や IoT などの情報通信科学技術、ゲノム編集や遺伝子組み換えなどの生命科学技術の急速な発展により、現在、大きなイノベーションの萌芽がいくつも現れています。そこで、農業情報学会が主導して、先駆的で挑戦意欲のある農業企業・団体・個人の実践的活動を表彰し、農業内や農業外産業にインパクトを与え、さらに農業のイノベーションを促進することを目的とした「農業イノベーション大賞」を選考し、表彰致しました。



■対象と基準

以下の活動に対して優れている方を対象としました。

- (1) 従来の農業分野における「常識」にとらわれない、将来性のある斬新な発想に基づいた実践的な活動を行っていること。
- (2) 情報・知識・ノウハウや情報通信技術 ICT の活用を行っていること。

■選考委員会による公正な選考により、以下の受賞者が決定しました。

 大賞	
 あさい農園 ASAII NURSERY	株式会社浅井農園 代表取締役浅井雄一郎 (三重県津市)
農場を科学する研究開発型ビジネスモデル	
研究開発型の農業経営を目指しており、異業種企業との共同出資型の事業展開にも積極的であり、「川上から川下まで独自のバリューチェーン構築」というビジネスモデルや独自技術開発に斬新性があり、人材(「人財」)育成にも工夫を凝らし事業展開も確実に進めており普及性が高い。独自品種開発や農業ロボットの研究開発に加えて、「Business、Science、Farm を兼ね備えた地域のリーダーとなる農業経営者の育成」など、次世代農業経営の1つの未来像を示している。	

 優秀賞 (教育・人材育成分野)	
 SEVEN FOODS	セブンフーズ株式会社 代表取締役 前田佳良子 (熊本県菊池市)
ICT を活用した次世代人材育成モデル	
人材育成を重視した人事評価(キャリアアップ道筋、モチベーション喚起など)、従業員のワーク・ライフ・バランス改善(働き方改革)の取り組み、多様な国内外研修への参加、ICT を活用した人事管理システムの構築などの人材育成の取り組みに加えて、その基盤として明確なビジネスモデル構築と ICT 活用を実践している。	



優秀賞（新技術分野）



株式会社ワビット 代表取締役 戸板裕康（東京都港区）

株式会社サカタのタネ 統括部長 近藤了裕（神奈川県横浜市）



DIY モデル環境制御システムの普及事業

環境制御システムの低コストモデルとして、IT 会社と種苗会社が連携して DIY キットを用いたワークショップ型販売等のユーザ参加型の普及の仕組みを構築している。ICT と栽培技術を一体化した形態での製品および技術普及を実践しており、中小施設園芸経営における普及が期待できる。



優秀賞（ビジネスモデル分野）

有限会社

有限会社エーアンドエス 代表取締役 大平貴之（岡山県笠岡市）

エーアンドエス

地域資源・ICT 活用低コスト野菜生産モデル

干拓地ならではの大区画圃場・大型農業機械、子育て世代女性や高齢者の安定雇用、JA 出荷施設などの地域資源と ICT を活用し、加工業務野菜の中でも輸入依存度が高い玉葱・キャベツなどの契約栽培のコスト削減に取り組み、輸入農産物に引けを取らない価格での国産野菜の生産販売を可能にしている。



選考委員会特別賞



株式会社紅梅夢ファーム 代表取締役 佐藤良一（福島県南相馬市）

ICT・ロボット技術活用による震災復興

壊滅的な震災被害を受けながら、地域農業の復興を図る中心的存在として、スマート農業技術の導入を積極的に進める共に、複合化に取り組むなど、先進的な展開に果敢に取り組んでいる。これにより、新規学卒者などの雇用、次世代の農業者育成に貢献している。

選考委員長 講評

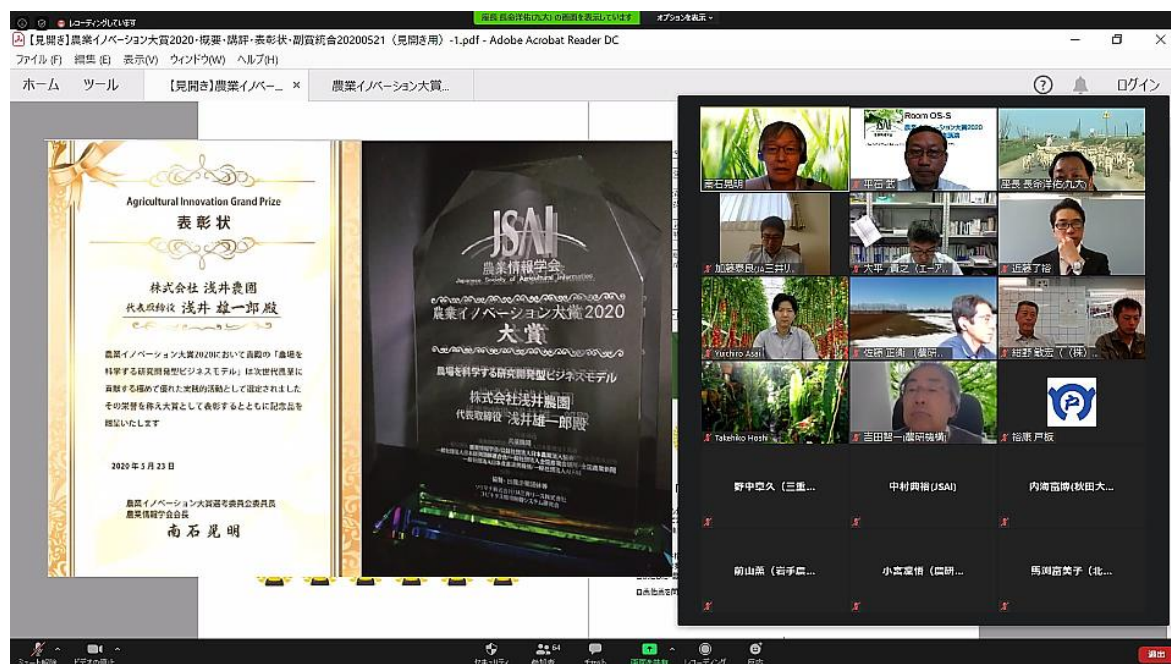


九州大学 教授
農業情報学会 会長

次世代の農業を再構築するために、今までの常識にとらわれないイノベーションが農業においても期待されています。イノベーションには、様々なタイプがありますが、製品、工程、市場・販売、組織・人材の4つにイノベーションを区分することができます。農業イノベーション大賞 2020 の受賞者の方々は、こうした領域で経営革新や技術革新に果敢に挑戦し、優れた成果を積み重ねている、農業イノベーションの実践者といえます。

こうした農業イノベーションの積み重ねによって、明るい将来展望が持てる次世代農業が実現できると確信しています。農業イノベーション大賞 2021 の募集（締切：2021 年 1 月）も予定しておりますので、多くの方が応募されることを期待しています。この場をお借りして、農業イノベーション大賞の共催・協賛機関、推薦者の皆様に改めて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインによる授賞式の様子



■ 選考委員（敬称略）

- 青山浩子（農業ジャーナリスト）
- 遠藤隆也（ALFAE・運営委員、M-SAKU ネットワークス代表）
- 大政謙次（高崎健康福祉大学農学部部長、東京大学名誉教授、日本農学アカデミー会長）
- 岸田義典（株式会社新農林社代表取締役、農業情報学会副会長）
- 黒谷 伸（（一社）全国農業会議所 情報事業部本部長）
- 南石晃明（九州大学教授、農業情報学会会長、選考委員長）
- 平石 武（ソリマチ株式会社取締役、農業情報学会副会長）
- 星 岳彦（近畿大学教授、農業情報学会副会長）
- 山田優（農業ジャーナリスト、日本農業新聞特別編集委員）

■ 共催機関

- 農業情報学会、公益社団法人日本農業法人協会、
- 一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）、一般社団法人全国農業会議所・全国農業新聞
- 一般社団法人日本食農連携機構、一般社団法人 ALFAE（アジア・太平洋 食・農・環境情報拠点）

■ 協賛・出展企業団体等

- ソリマチ株式会社、JA 三井リース株式会社、ユビキタス環境制御システム研究会(UECS)

本件に対する問い合わせ

農業イノベーション大賞 事務局（農業情報学会 事務局内）
 〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル 2F 株式会社共立
 TEL 03-3551-9891（代表）、FAX 03-3553-2047、E-mail: sec@jsai.or.jp